作成:2022年1月

# 都市別データ:ダバオ市(フィリピン)

# ①基礎情報

#### ■ 人口

人口総数: 1,776,949 人 (2020 年) 人口成長率: 1.79% (2020 年) 人口密度: 727 人/k㎡ (2020 年)

#### ■ 面積

2,443.61 km² (2020 年) <sup>1</sup>

## ■ 言語・宗教

公用語:フィリピノ語、英語 主な宗教:ローマカトリック

主な祝日:新年(1月1日)、中国旧正月(2月1日)、エドゥサ革命の日(2月25日)など2

# ■ 経済

主要産業:農業

通貨:ペソ

市内総生産 (GRDP):832 億ペソ (2020 年)

一人あたり GRDP: 157,270 ペソ GRDP 成長率: -7.6% (2020 年)<sup>3</sup>

<sup>&</sup>lt;sup>1</sup>フィリピン統計局ホームページ https://psa.gov.ph/

<sup>&</sup>lt;sup>2</sup> 日本貿易振興機構ホームページ https://www.jetro.go.jp/world/asia/ph/holiday.html

<sup>&</sup>lt;sup>3</sup> フィリピン統計局ホームページ http://rsso11.psa.gov.ph/grdp

# ■ 行政機関 4

機関名	関連部署	所在地
ダバオ市	投資促進センター	Davao City Tourism,
	(Davao City Investment	Investment and Promotions
	Promotion Center)	Building, Palma Gil St., Davao
		City
	市技術事務所	City Hall Drive, San Pedro St.,
	(City Engineer's Office)	Davao City
	市交通管理局	CTTMO Compound (formerly
	(City Transport and Traffic	TMC), Elias B. Lopez Street
	Management Office)	corner Patnubay Street, SIR
		Matina, Davao City
	市建築事務所	City Hall Drive, San Pedro St.,
	(Office of the City Building	Davao City
	Official)	
	都市計画と開発コーディネータ	Room 2, City Hall Building,
	一事務所	City Hall Drive, San Pedro St.,
	(Office of the City Planning	Davao City
	and Development Coordinator)	
	市管理局	Rooms 12, 14 and 22, 2nd
	(City Administrator's Office)	Floor, City Hall Building,
		Davao City
	都市環境天然資源局	CENRO Motorpool
	(City Environment and Natural	Compound, Barangay Maa,
	Resources Office)	Davao City
	市総合サービス室	Door No. 6, Davao City Hall
	(City General Services Office)	Building, City Hall Drive,
		Davao City

# ■ 政府関連機関・研究機関

機関名	所在地
ダバオ市総領事館	4th Floor, BI Zone Building,
	J.P. Laurel Avenue, Bajada,
	Davao City 8000

<sup>&</sup>lt;sup>4</sup> ダバオ市ホームページ https://www.davaocity.gov.ph/departments/

## ② 気候変動に関連する政策

#### ■ 開発計画

ダバオ市の都市整備に関する上位計画としては、国家枠組み計画 2016-2045 と国家空間戦略国全体、ミンダナオ空間戦略・枠組み計画 2015-2045、ダバオ地域空間フレームワーク 2015-2045 がある。これら上位計画においてダバオ市は以下の通り、重要な都市として位置づけられている。

- ・**国際的位置づけ:**製造業・サービス業において東アセアン成長地域(EAGA: East ASEAN Growth Area)の主要国際ゲートウェイ及び経済拠点となる。
- ・**国内での位置づけ**:ダバオ市はミンダナオ島の主要商業ハブであり、教育、医療サービス、製造業、サービス業、観光の拠点となる。
- ・地域での位置づけ:ダバオ市ダバオ地方(Region XI)の中心都市であり、政府機関、サービス、教育、レクリエーション、商業、貿易、工業の集積地となる。道路と通信インフラはリージョン全体とつながる。

ダバオ市は近年の急激な人口増加に対してインフラ整備が追い付かず、インフラの整備は大きな課題となっている。同市はミンダナオの行政、産業の拠点としての機能だけでなく、東 ASEAN 成長地域(EAGA)における製造業、サービス産業の拠点としても重要な位置を占める。そうした状況において、住宅供給、商業、ビジネス、製造業、観光に関する投資を先導する都市開発を促進するため、インフラ開発に優先的に取り組む必要がある。こうしたなか、同市は、都市化による無秩序な開発と様々な都市問題に対応するため、総合土地利用計画(CLUP)を策定した(2013 年~2022 年)。5

#### ■ 気候変動対策

フィリピンでは、気候変動法(共和国法第 9729 号、2009 年)により、全ての自治体が気候変動行動計画(LCCAP: Local Climate Change Action Plan)を策定することが求められている。同法は、特に、適応策に関する計画の策定を求めているが、パリ協定の下でフィリピンが提出した約束草案(INDC)では、「2000~2030 年の BAU(従来どおりの)シナリオと相対的に 2030 年までに 70%排出削減を実施する」ことを目標に掲げていることから、緩和策を推進することも重視されている。

また、フィリピン政府は、持続可能な開発目標(SDGs)を推進する一環で、自発的国別レビュー(VNR)をこれまでに 2016 年と 2019 年に 2 回公表している。 2019 年の VNR でも、気候変動対策(目標 13)として以下の 2 つを設け、推進している。

ターゲット 13.1 気候関連のハザードと自然災害に対する回復力と適応能力を強化する ターゲット 13.2 気候変動対策を国の政策、戦略、計画に統合する

フィリピン気候変動委員会(CCC)が公開している LCCAP の策定ガイドラインでは、緩和策も含めることも推奨されている。CCC はさらに、緩和策の基礎情報として必要となる GHG インベントリの作成マニュアルも公開し、要請に応じて自治体向けのトレーニングワークショップを開催する等、国内でも緩和策を含めた LCCAP 策定支援が進められている。6

<sup>&</sup>lt;sup>5</sup> 国際協力機構(JICA) (2018). フィリピン国ダバオ市インフラ開発計画策定・管理能力向上プロジェクト最終報告書. https://openjicareport.jica.go.jp/pdf/12308698.pdf

<sup>6</sup> 令和元年度低炭素社会実現のための 都市間連携事業委託業務 (ダバオ市における気候変動行動計画策定支援等 による低炭素社会推進

ダバオ市は 2013 年に UNHABITAT の支援を受けて適応策を中心とした LCCAP を策定し、その後 2019 年に計画を更新した。 2021 年には大統領令を受けて LCCAP の実施を任務とするダバオ市気候 変動委員会(DCCC)が設立された。  $^7$ 

ダバオ市の LCCAP の目標は、「災害に強く、気候変動に適応したコミュニティを構築することで、市の開発利益と持続可能性の取り組み/イニシアチブを追求し、確保する」ことであり、①食糧安全保障、②水の充足、③生態系と環境の安定、④人間の安全保障、⑤気候変動に強い産業、⑥持続可能なエネルギー、⑦知識能力と開発という 7 つの分野に重点を置いている。こうした分野は、気候変動への適応と緩和のための対策や政策を追求する上で、望むべき変化を反映している。また、ダバオ市交通ロードマップ、IM4(ダバオ市インフラ開発計画策定・管理能力向上プロジェクト)における川沿いの保全・開発、廃棄物処理事業など優先プロジェクトも気候変動に対処するための事業として位置づけられている。8

#### ■ 廃棄物関連政策

廃棄物管理については、ダバオ市は JICA の協力のもと、2045 年までの長期的な廃棄物管理計画を立案した。同市はこれまでゴミの分別収集、生ゴミの MRF によるコンポスト化、3R(削減・再利用・リサイクル)の推進、食用油の廃油からバイオディーゼルを作る試み、廃棄物処理発電の準備などに積極的に取り組んできた。ゴミ収集のほぼ全般をダバオ市環境自然資源室(CENRO)が担い、2045 年の発生ゴミ量は 1,602 トン/日と予測されている。処分方法には、従来のゴミ処分場での廃棄処分、廃棄物処理発電施設で焼却した後の灰を処分場で廃棄、MRF によるコンポスト化、その他ゴミのリサイクルの 4 つとされている。9

# ③ 政治的な動向

#### ■ 首長・市長の方針

ダバオ市はフィリピン南部に位置するミンダナオ島の最大の都市であり、同国で最大の面積を誇る都市である。サラ・ドゥテルテ市長はフィリピン共和国のロドリゴ・ドゥテルテ大統領の長女である。ドゥテルテ大統領がダバオ市長を務めていた 2007 年に副市長となり、2010~2013 年、2016 年から市長に就任した。

#### ■ カーボンニュートラル宣言など

ダバオ市において現時点では、カーボンニュートラル宣言は行われていない。

以上

https://www.davaocity.gov.ph/covid-19/mayor-sara-forms-davao-city-climate-change-committee

事業)報告書,環境省.

<sup>&</sup>lt;sup>7</sup> Mayor Sara Forms Davao City Climate Change Committee, 2021/9/28.

<sup>&</sup>lt;sup>8</sup> Davao City Local Climate Change Action Plan.

<sup>9</sup> 国際協力機構(JICA) (2018). フィリピン国ダバオ市インフラ開発計画策定・管理能力向上プロジェクト最終報告書. https://openjicareport.jica.go.jp/pdf/12308698.pdf